



黒川 美克 議員

高浜市公共施設あり方 計画について

情報公開について

問 28件の審査請求が1年以上経過しても、何の連絡もないがその理由は。

答 諮問書や弁明書等の作成準備等が必要で、かなり

の労力を費やし、限られたマンパワーで対応が追いつかずに事務が滞ってしまった。

住民監査請求と住民訴訟について

問 平成28年4月1日以降、情報公開についての取消訴訟3件の訴訟結果は。

答 訴訟結果としては、平成28年の取消訴訟は原告の請求が認容。平成30年の取消訴訟は訴えの取り下げ。令和2年のは現在、継続中。

問 住民監査件数と住民訴訟の弁護士費用は。

答 住民監査請求は、平成28年度2件、平成29年度2件、平成30年度1件、令和元年度1件、今年度、9月1日現在で2件。住民訴訟の提訴件数

は、平成28年度1件、中央公民館公金差止。平成29年度2件、商工会固定資産税賦課徴収、商工会館解体不当利得。令和元年度2件、中央公民館控訴審他1件。訴訟費用は、公金支出差止め及び不当利得返還の第1審及び控訴審の3件分が370万7,500円。固定資産税違法確認訴訟が10万8,000円。勤労青少年ホームの訴訟が79万2,500円、合計で460万8,000円。

勤労青少年ホーム跡地発生土について

問 完了検査は650の土を確認したのか、720の土を確認したのか。

答 解体工事の検査は、720立米ではなく、あくまでも設計書での650立米を確認している。

問 720は測量しているが、5,354.08は、測量するよう依頼したら断られた。測量せずに最終処分場に出した数字は5,354.08で、換算係数が2.0。1,349トン換算係数が2.0。650と720は企画部長は同じ重さだと、答弁されたが矛盾していないか。

答 最終的には産業廃棄物の処分というのはトン当たりで、運搬も処理場でも重量を量って、きちんと精算している。



神谷 利盛 議員

高浜市市制施行50周年 記念事業について

問 新型コロナウイルス感染拡大による、各事業への影響は。

答 8月1日時点で、次年度への延期を決定した事業

①50周年記念事業 ②

「市民会議50」の企画事業

6事業の内の3事業 ③市民募集アイデア12事業

の内の6事業。中止・再検討1事業。

問 今年度実施予定事業は。

答 ①「高浜市テーマソング」制作完了、普及啓発中。②「笑顔の写真事業」9月30日を期限として募集中。③「テレビ番組制作」8月末に撮影終了。など、順調に進行している。

問 アニメキャラと干支瓦とのコラボ事業では、全国各地より多くのファンの来訪が期待できる。受け入れ体制は大丈夫か。

答 ①コラボ期間を3ヶ月とし、来訪者の分散をはかる。②3密の回避・消毒の徹底を行う。三州鬼瓦工芸品の絶好のPRの機会なので、あ

わせて、高浜市全体のPRにつなげていきたい。

問 企業よりいただいた協賛金を新型コロナウイルス感染症対策に一部転用する予定はあるか。

答 8月末時点で企業・個人より約1,500万円（目標は1,000万円）いただいているが、現時点では転用する予定はない。

問 もし、来年度もコロナ禍が収束しなかった場合には、事業の実施は見送るのか。

答 感染防止対策を講じることによって実施可能かどうかを「市民会議50」と検討していく。但し、安全第一の立場から中止する事業もあり得る。

問 市制施行50周年記念事業を通じて、市はどのような成果・効果を狙っているのか。

答 狙いは ①市内外への高浜市の魅力の発信

②市民の皆さんが高浜市に興味を持っていただく ③50年の振り返りにより、まちへの愛着を持っていただき、まちづくりの担い手を発掘したい。予定では第7次高浜市総合計画に市民会議を立ち上げ、まちづくりの担い手を目指す方々に集まってもらいたい。